

## 転写規則

本コースでは、ウルドゥー文字に慣れるまでの補助手段として、あるいは文字を学ばずに会話等を学びたい人向けに、ウルドゥー文字とローマ字による転写記号を両方用いています。転写記号は、以下の規則に従っています。この記号は、あくまでも発音の補助手段として用いていますので、必ずしも文字すべてを転写していない、同音異字を区別していないなどの点には注意してください。また、表末尾の注意事項にもご留意ください。なお、個々の発音要領については、こちらのページをご覧ください。

転写記号	文字	転写記号	文字	転写記号	文字	転写記号	文字
l	ل	s (*2)	ص	d	د	注1	ا
m	م	z (*4)	ض	ḍ	ڈ	b	ب
n	ن	t (*1)	ط	z (*4)	ذ	p	پ
注2	و	z (*4)	ظ	r	ر	t (*1)	ت
h	ه	` (*5)	ع	ṛ	ڑ	ṭ	ٹ
注3	ی	ǧ	غ	z (*4)	ز	s (*2)	ش
		f	ف	ž	ژ	j	ج
<sup>h</sup> (*6)	ھ	q	ق	s (*2)	س	c	چ
		k	ک	š	ش	h (*3)	ح
		g	گ			x	خ

注1	母音を表す文字です。語中、語尾に来る場合は必ずaの音を表しますが、語頭に来る場合は、a、i、u のどれかになり、単語ごとに異なります。
注2	さまざまな音を表します。母音のūや o、au、子音のv、半母音のwを表します。
注3	さまざまな音を表します。母音のīやe、ai、半母音のyを表します。
母音表記	ローマ字転写による母音表記では、長短を区別します。長母音については、ā、ūのように表記します。また、鼻音化母音については、その直後にŋを付加して表記します。

注記	
*1	これらは同音異字で、発音上の差はありません。しかし、単語ごとにどの文字を用いるかは決まっています、別の文字を用いることはできません。
*2	これらは同音異字で、発音上の差はありません。しかし、単語ごとにどの文字を用いるかは決まっています、別の文字を用いることはできません。
*3	これらは同音異字で、発音上の差はありません。しかし、単語ごとにどの文字を用いるかは決まっています、別の文字を用いることはできません。
*4	これらは同音異字で、発音上の差はありません。しかし、単語ごとにどの文字を用いるかは決まっています、別の文字を用いることはできません。
*5	この文字は、母音を表します。この記号は、この文字を使っていることだけを示し、固有の音はありません。
*6	この文字は、有気音を示すためだけに用いられ、必ず別の文字とともに現れます。この文字の直前の文字の有気音化を示します。